

＜各区総合防災訓練概要＞

区	訓練場所	特徴等
千種	上野小学校	・手をつなぐ育成会、基幹相談支援センター及び社会福祉協議会による、避難所における要配慮者支援を目的とした体験型訓練の実施。 ・千種環境事業所、上下水道局東部営業センターによる、災害時の仮設トイレの使用方法や地下式給水栓の操作方法を学ぶ訓練を実施。 ・消防署、消防団、土木事務所及び警察署が連携した、道路啓開、救出救護及び放水訓練実施による関係機関相互の連携強化を図る。
東	矢田小学校	・訓練ブースを初級、中級、上級と分けて、様々な訓練を体験することで参加者に合った防災学習を実施。 ・特設公衆電話設置訓練やWi-Fi機器の説明、発電機操作訓練等の備蓄用品の取扱い訓練を実施。 ・水害被害想定のある地域のため、浸水時のドアにかかる水圧体験を実施。 ・要配慮者誘導訓練では避難行動要支援者に参加してもらい、東区自立支援連絡協議会防災部会と地域住民で福祉避難スペースまでの誘導を体験及び気を付けるべき点などを学ぶ。
北	北中学校	・要配慮者が講師として参加する災害時要配慮者避難援助訓練を実施。 ・医師会を中心とした、医療救護所設置資材や医療救護所セットの確認、模擬診察など医療救護所設置運営訓練を実施。 ・指定避難所運営訓練として総務班、施設班、救護班、食料班に分かれて、各班の役割についての訓練を実施。
西	山田中学校	・地域全体の防災意識の向上を図るために、家具転倒防止の啓発、地下式給水栓取扱い方法の説明、学校トイレを活用した簡易バック式トイレの展示など多岐にわたる訓練を実施。 ・大規模災害時の避難所運営および区本部の対応について、若い世代が理解を深めるとともに、家庭および地域の防災力向上に資することを目的として、中学生に「1日西区長」を委嘱。
中村	笹島小中学校	・区内の障害者団体による、避難所運営における要配慮者対応訓練を実施。 ・保健センターによるエコノミークラス症候群を予防する講義を実施。 ・公所等の防災関係機関の他、なごや中村災害ボランティアネットワーク、中村区介護保健事業者連絡会、中部電力パワーグリッド株式会社に参加いただき、ブース出展等で多方面から防災知識の啓発を実施。
中	平和小学校	・地域住民自ら「助けられる側から助ける側になる」ために、できるだけ多くの方に体験できる機会を設ける。 ・段ボールベット組立体験、災害用トイレ組立体験、地下式給水栓操作体験、応急手当訓練などを実施。 ・子どもたちにも、災害への備えを自分事として学ぶ機会を創出する。
昭和	松栄小学校	・災害用トイレの啓発、家具固定、ベット同行避難を重点取扱い事項として実施。 ・ベット同行避難について、名古屋市獣医師会から地域住民へ講話を実施。 ・安否確認カードを使用し、学区内全町内会で安否確認訓練を実施。
瑞穂	穂波小学校	・関係機関合同で「災害時のトイレ」をテーマとした、パネルディスカッションを開催。 ・学区住民が主体とした、簡易バック式トイレの講習を実施。 ・保健センターと獣医師による、ベット同行避難やスターターキットに関する講習を実施。 ・みずほ災害ボランティアネットワークによるガラスフィルム貼り体験講習を実施。
熱田	旗屋小学校	・発災直後の災害救助地区本部の役割について、自主防災組織や避難所運営組織との関係を含め、防災訓練実施学区の災害救助地区本部委員及び他学区の本部長・副本部長などに向けた訓練を実施。 ・各種防災関係機関ほか各種団体のブースを「自助」「共助」「公助」に分けて設置して、防災意識及び知識の向上を図る。
中川	八幡小学校	・訓練参加者に自助や共助につながる行動・知識を体験、習得できるように住民参加型訓練を中心とする。 ・学区の特色として、道路狭隘のためスタンドパイプを使用しての初期消火訓練を実施。 ・防災に関する啓発及び住民の防災意識高揚を図るために、名古屋市消防音楽隊の演奏・演技を実施。
港	大手小学校	・「港区民一斉津波避難訓練」を実施。8時30分に「無事ですカード」を掲示し、非常持ち出し品を持って自宅周辺の津波避難ビル前まで避難を実施。 ・NTP名古屋トヨペットによる、給電車の展示を実施。 ・NTT西日本東海支社による、可搬型蓄電池や災害用伝言ダイヤル171の紹介等を実施。 ・中部電力パワーグリッド港営業所による、通電火災防止等説明を実施。
南	新郊中学校	・避難所開設訓練として、一般受付、要配慮者受付、ペット受付を設置する。要配慮者受付においては実際に障害のある方に参加いただき、福祉避難スペースにて要配慮者のニーズ調査を実施。 ・「要配慮者の防災を考える会」による、要配慮者の防災に関する講演を実施。 ・南保険福祉センター保健予防課による、災害時の健康管理に関する講演を実施。 ・関係公所、機関による防災教室（ブース展開）を実施。 ・外国人の防災関連ブースとして、日本赤十字社愛知県支部による「やさしい日本語による赤十字講習啓発ブース」を実施。
守山	守山東中学校	・災害救助地区本部、避難所管理組織の各班に分かれて、避難所開設、避難所運営訓練を実施。 ・防災ボラネット（ボランティア団体）を講師とし、苗代学区の地域特性や災害リスクを踏まえた防災講話を実施。 ・住民の防災知識向上に係る体験型の住民参加訓練を実施。 ・消防署、土木事務所、警察署、陸上自衛隊が連携した、道路啓開、救出救護、放水訓練を実施。
緑 (重点区)	太子小学校	・参加者をグループ分けし、各グループで2種類の訓練を実施して、防災に関する幅広い知識や技能の習得を促進する。 ・地域防災力の強化を図るために、災害対策委員に救助地区本部の役割や運営方法に関する説明・訓練を実施。 ・小学校児童が参加して、地震発生時の安全確保や避難行動を体験し、防災意識及び防災知識の定着を図る。
名東 (重点区)	西山小学校	・自主防災会ごとに現地本部に集まり、現地本部の場所や自主防災会の役割などを確認する避難訓練を実施。 ・「多様な防災ブース」では、多くの関係機関と連携して、啓発・体験を実施。 ・手をつなぐ育成会及び自立支援協議会と連携し、疑似体験を通じた実践的な訓練を実施。
天白	平針小学校	・平針学区において安否確認訓練を実施し、重要性について周知を図る。 ・日本赤十字社や天白区障害自立支援連絡協議会と協力し、要配慮者支援に関する訓練を実施。 ・協定を締結した企業（ドローン関係）と連携して、災害時のドローン活用事例の紹介や区本部と関係機関・団体の動きを住民に周知を図る。 ・地域住民向けに、煙道体験や段ボールベット体験など、体験型訓練を実施。